

ひとり1改革運動

「班を挙げて取り組もう」改革賞

建設業許可事務等パワーアップ大作戦

【交通基盤部 建設業課許可班】



効率的に仕事に取り組み、審査のプロとして業務に精通した職員を育成するための体制作りを進める必要がありました。

そこで、“建設業許可事務等パワーアップ大作戦”を企画し、職員の育成、時間外勤務縮減、執務環境の整備など全10項目の業務改善に班を挙げて取り組むため作戦書を作成し、職員研修会の実施や許可審査業務のチェックリスト作成など、個人・組織共に成長し強い組織をつくる取組を実践しました。

その結果、審査所要平均日数が、14日から8.6日と、業務処理期間を6割削減するなど、申請者の満足度向上を図ることができました。

工夫した点は？

- ・忙しいからこそ、敢えて業務の仕組みづくりを行い、愚直に徹底的に作戦を実行しました。
- ・建設業法が目指す、発注者保護に立った建設業許可申請制度の構築を心掛け、10項目の改善を実施しました。
- ・個人、組織共に成長する生き方、働き方である「ワークライフ・バランス」の実現に向け取り組んでいます。

今後に向けての更なる取組は？

相談者用の許可制度・申請の概要を図説した「リーフレット」を作成します。

より具体的で、実践的な研修の実施により、人材強化を図り、常に、行政としてやるべきことは何かを意識し、考え、行動していきます。



【業務手順書：スッキリシリーズ】



【研修強化書：ザックリシリーズ】

【静岡産業大学 松本教授 から一言】

業務の仕組みの根本的な見直しを行い改善に結びつけたこと、さらには、人材育成やワークライフ・バランスの実現への取組など模範とすべき事例と言えます。また、愚直に徹底的になど「心意気」も評価し、大事にしてほしいと思います。

ひとり1改革運動

「班を挙げて取り組もう」改革賞

試験機器の「作業手順書」を作成

【工業技術研究所 機械科】



これまで、工業技術研究所には研究で使用する試験機器が多くありますが、各機器の使用手順が職員ごとに異なっており、作業効率や安全の面で改善が必要でした。

そこで、科員全員で試験機器の「作業手順書」を作成し、OJTを実施しました。

その結果、統一された「作業手順書」により、安全性及び作業効率を向上させるとともに、県内企業の設備使用者の安全性及び利便性の向上も実現しました。

工夫した点は？

- 機器メーカーの取扱説明書にとらわれず、作業する職員の視点で「作業手順書」を作成しました。
- 外部の方も機器を使用することから、写真や図を多用して、視覚的にもわかりやすい手順書となるよう心掛けました。
- 科員全員で「作業手順書」を作成することにより、「分かりやすい資料作り」のスキルも向きました。

今後に向けての更なる取組は？

現在までに作成した「作業手順書」は、特に使用頻度が高く、高い安全性が求められる試験機器を中心に作成しましたが、今後も、引き続き他科とも協力して、順に「作業手順書」を作成していきます。

【静岡大学 日詰教授 から一言】

これまで研究所内の試験機器使用に関して、その使用方法については個々の職員に委ねられていました。特に機器の使用に際し、効率性や安全性を確保することは不可欠のことであり、その意味では「作業手順書」を作成して使用方法の標準化を図ったことはとても良い取り組みであったと思います。今後はこの取り組みを他の機器にも拡大していただくことを期待します。



【「作業手順書」の例】



【「作業手順書」を使った作業の様子】

ひとり1改革運動

「風通しの良い職場づくり・職場環境の改善」改革賞

「技術検討会」の実施による適切な設計積算の推進と技術交流 及び技術力向上

【中部農林事務所 治山課治山班、林地保全班】



治山事業に関する経験の少ない職員の技術力向上や、業務の効率化を図るための体制づくりが必要でした。

そこで、治山事業における設計や技術力の向上を図るため、班員全員による「技術検討会」を設計書ごとに実施し、積極的に職員間で意見交換を行うこととしました。

その結果、経験豊富な職員と若手職員との間で気軽に話し合う職場風土が醸成され、若手職員の技術向上も図られました。

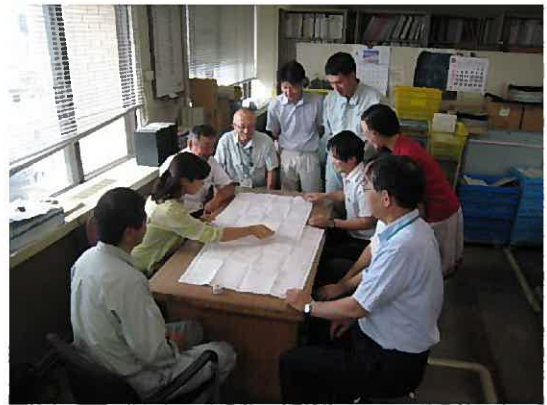
工夫した点は？

- ・「技術検討会」では、誰もが気軽に意見を言い合える雰囲気づくりを心掛けています。
- ・設計の考え方を否定するのではなく、どのようにしたらより良い設計になるかという視点で議論を進めるようにしています。
- ・経験だけでなく、国の技術基準などを基に議論し、様々な経歴を持った職員が互いに検討することで、最適な設計を行うことができ、経験が少ない職員の技術力向上も図られました。

今後に向けての更なる取組は？

職員間の意見交換を積極的に行い、技術の伝承、技術の交流を進め、個人の技術力向上を図っていきます。

また、「技術検討会」に加え、各種研修会の実施により、適正な設計、費用対効果の向上を図っていきます。



【「技術検討会」の様子】

【静岡文化芸術大学 田中教授 から一言】

設計に焦点を当てた「技術検討会」を立ち上げることにより、設計の改善、職場の情報共有、技術力の向上・継承、職員の研修・育成等様々なメリットが発揮されています。評者は、このようなタイプの取り組みが行政機関にとって最も重要だと考えており、部門を問わず参考にされるべき事例です。

ひとり1改革運動

「風通しの良い職場づくり・職場環境の改善」改革賞

風通しの良い職場づくり～花と絵画と織物が彩る執務環境の改善～

【企業局 経営課総務班】



これまでの企業局（経営課・事業課）の執務室は、花もなく雑然とした空間で、お客様をお迎える雰囲気ではありませんでした。

そこで、職員有志で花や置物を持ち寄ったり、世界遺産「富士山」の絵画や、地場産業である遠州織物を飾るなど室内に“彩り”を加えることにより職場環境の改善を行いました。

その結果、職場内が明るい雰囲気になり、職員のモチベーションが向上するとともに、コミュニケーションを取り合う機会も増え、来庁者へのイメージアップも図られました。

工夫した点は？

- ・ 職場環境の改善にあたり、静岡県が誇る富士山や花と緑があふれる、ふじのくに等にヒントを得て、取り組み実施に活用しました。
- ・ 職員全員で取り組む事で、より良い職場環境になるよう考慮しました。
- ・ 経費をかけず、職員有志や他部局からお借りしたものを活用しました。

今後に向けての更なる取組は？

今後も新たな視点から着想を得たり、他所属の事例を参考にする等、風通しの良い職場づくり・職場環境の改善に引き続き取り組んでいきます。
身近なところにある改善のヒントを逃さず、アイデアに発展させ、実行していきます。



【改善された執務室（花と絵画）】



【改善された執務室（遠州織物）】

【静岡県立大学 西野教授 から一言】

職場の環境は業務のパフォーマンスに大きな影響を与えます。本取組は、効率性など機能的な面だけでなく、精神的、感覚的な効用も狙ったものです。訪問者に与える効果もあります。職員有志の持ち寄りや組織内の文物を活用して、コストをかけずに、大変センス良く環境改善を実現しています。